

知財情報フェアにおける 生成 AI による図面と表の読解と作成

2026 年と 2025 年の展示発表比較

調査基準日 2026 年 9 月 24 日

GPT-6 Astra

1 調査の要点と対象

2026 年の大きな変化は、図面・表の読解や生成を、明細書の起案、編集、品質確認、審査対応、案件管理までつなぐ提案が具体化したことである。2025 年にも、図面の説明、表画像からの数値抽出、図・フローチャート付き提案書、請求項の対比表生成は存在していた。比較では、入力資料の範囲、生成物の編集可能性、後続業務との接続が重要になる。

対象は、2026 年 9 月 16 日から 18 日までの開催分と、2025 年 9 月 10 日から 12 日までの開催分である。[1][2] 主催者の出展者情報・講演概要、出展企業の発表、日付付き製品資料を照合した。実演の記載は公式案内上の実演告知を意味し、実演結果に対する独立した性能評価とは区別する。

図面・表を扱う製品であっても、画像の類似検索、OCR、従来型の作図、表の画像化、通常のグラフ表示と生成 AI による処理は区別した。製品機能の確認と、その機能が会場で実演されたことの確認も別に扱う。

対象	本稿で比較する内容
図面の読解	符号抽出、構造・動作の説明、図面間比較、図面を根拠とする起案・反論検討
表の読解	既存の実験表・数値表の抽出、条件と評価結果の対応付け
図面の作成	図面自体の生成と編集可能な出力。図面の説明文の生成とは区別
表の作成	既存データの表形式への変換と、請求項・引用文献の対比表生成を区別

2 2026 年の展示と発表

図面を入力にも出力にも使う具体的な展示・講演が確認できる。以下では、会場での紹介が明示された内容、出展製品の機能として確認できる内容、参考出展を区別して整理する。

AIDAO

9 月 17 日の講演 P6-11 では、明細書用の図面自動生成と、引例図面の解析による中間対応の反論検討を効率化する事例を紹介するとしている。図面の作成と、読解結果を実務判断につなげる利用の両方を講演概要に明記している。[3]

アイビーリサーチ AIPs

図面・化学式の画像と RAG による参照情報から、請求項・実施形態のドラフトをローカル PC 上で生成する。9 月 16 日の P1-03、17 日の P4-07、18 日の P2-15 で、画像から文章を生成する実演を告知している。出展者ページは AIPs、講演紹介は A-Ipat の表記であり、名称の差に留意する。確認できる出力の中心は特許文章である。[3][4]

ユアサポ ユアサポ AI

発明提案書から請求項・明細書・図面を生成し、AI による文書横断修正、Word 本文との同期までを接続する。9 月 16 日の P4-06 では製品画面を交えた紹介を告知し、17 日の P5-10 では符号整合や効果記載など、組織独自のルールを使う品質確認を紹介している。[3][5]

AIVisor PatVisor AX

PDF・Word・Excel・PowerPoint・画像の技術資料から発明の技術要素を抽出し、発明者の確認・編集後、要約、請求項、詳細説明、図面案を生成する。図面・図表を SVG 等の編集可能な形式で出力できると公式出展情報に記載している。入力形式の対応は確認できるが、各形式の解析精度や会場での個別実演結果とは区別する。[6]

パテント インテグレーション サマリャ

2026 年 8 月 20 日の更新で、図表の SVG 生成と PPTX 出力に対応した。ブロック図等を PowerPoint や Visio で編集でき、図面のみの PPTX 出力も可能としている。発明資料と明細書の記載漏れ照合、図面を含む品質確認も拡充した。フェアでサービスのデモを行う告知はあるが、図面関連の各機能をどこまで個別実演したかは別の確認事項である。[7][8]

Smart IP appia engine

構成要素対比表の生成対象を、特許文献に加えて非特許文献にも拡大した。9月1日の発表は、この更新を含む中間対応機能についてフェアで実演することを明記している。[9] 9月11日には、請求項・図面・明細書等の生成と、Dooup による案件・期限・進捗管理の連携も発表した。[10]

Patentfield AI 検索サポート

仮称 AI 検索サポートは、検索式生成や分類提案などとともに、公報・図面の読解を支援する。出展発表は参考出展と明記しているため、一般提供済みの完成機能と同じ段階とは扱わない。[11]

AIBS KORREPET

出展発表では、図面に文字をレイアウトした後の文字欠落・タイポの AI チェックをデモ内容として挙げている。外国語明細書の理解やクレームツリー作成も紹介する。図面読解の中でも、文字・翻訳品質の確認に関する具体例である。[12]

ASU Aicrea

公式出展製品情報に、生成 AI を用いた先行技術調査・対比表作成、知財管理システムとのデータ連携、期限管理・可視化を記載している。表作成の中心は、文献・請求項の比較整理である。[13]

Patlytics

クレームチャート作成を、出願、審査対応、無効性・侵害分析等と同じ環境で提供する。生成した分析結果に根拠となる引用情報を付与するとしており、表の生成と根拠確認を結び付ける提案として関連する。企業が示す精度等の数値は、共通条件による他製品との比較成績ではないため、本稿の優劣評価には用いない。[14]

図面作成の進展を具体的に示すのは、サマリアと PatVisor AX が編集可能な出力形式を明記している点である。図の生成後に人が修正し、特許文書の作成工程へ組み込むことを想定している。[6][7]

関連機能の確認範囲

Questel の Qthena は、2026 年の公式出展情報に、日本語対応、日本特許庁対応とともに図面作成機能を掲載している。ただし、その作業のどこまでを生成 AI が自動実行するのか、対応する図種や出力精度までは同記載から判断できない。[15]

トランスエヌの N-Patent は、請求項と技術論文・図面・ヒアリング記録等を読み込ませ、明細書本文を生成する。完全オンプレミス設計を訴求している。請求項の設計は弁理士が担当するとしており、図面自体の生成を示す製品説明ではない。[16]

リーガルテックの AI IPGenius on IDX は、材料・化学・食品分野の配合条件、製造条件、評価結果等の実施例データを抽出・比較する。実験表の利用に近い重要な展示であるが、公開説明が直接示するのは実施例データの抽出・比較であり、表画像の処理方法や数値・単位・脚注の読解精度までを保証する記載ではない。[17]

3 2025 年の展示と発表

2025 年の公式資料と会期前の製品資料には、図面・表を扱う機能がすでに相当範囲で記載されている。出展と製品機能の双方が確認できる場合でも、その全機能を会場で実演したことまでは意味しない。

TTDC swimy

公式出展情報で図・フローチャート等への対応を紹介し、講演 P42・P77 では図・フローチャート付き発明提案書や、グラフ付き特許解析レポートの自動生成を説明している。図を伴う文書生成は 2025 年に存在しており、2026 年の初登場とは評価できない。[18][19]

パテント インテグレーション サマリア

2025 年の出展を確認できる。[20] 最終更新日が 2025 年 8 月 18 日のマニュアルには、図面・表・化学構造式・数式の画像解析、符号抽出、図面比較、表画像から Excel 形式への抽出が記載されている。表画像は一度に 5 枚まで指定し、それぞれ別のワークシートに保存できるとしている。[21]

パテント リザルト Biz Cruncher

図面の解説、発明のフローチャート化、画像認識とテキスト解析による実施例の数値情報の表整理は、すでに 2024 年 9 月 17 日に発表されている。[22] 2025 年の案内には会期中の自社ブースへの来訪を促す記載がある。2025 年より前からの機能の継続性を示すが、2025 年の個別実演範囲とは区別する。[23]

Smart IP appia engine

新しい AI 中間対応機能を展示し、構成要素対比表・意見書の自動生成を公式出展情報に記載している。対比表生成そのものは 2025 年に確認済みである。[24]

ASU Alcrea

公報や出願 Word 文書を比較して対比表を作成する新製品として出展している。公式講演 P40 でも対比から可視化までの支援を紹介した。比較表生成は 2025 年からの提案である。[25][19]

XLSCOUT と TT Consultants

講演 P15 では ParaPics 等を用いた請求項・明細書要素の解析と、技術図面と特許の視覚的な対応付けを紹介している。図面と特許内容を関連付ける提案であり、図面自体の自動生成を示す記載とは区別する。企業の案内でも、2025 年の出展と 9 月 10 日の講演を確認できる。[19][26]

アイビーリサーチ

2025 年 9 月号のメールマガジン第 34 号は、特許専用 LLM によりローカル CPU 上で実施形態を段落単位で生成するツールを、同年のフェアで初公開すると説明している。2025 年の発表は文章生成が中心であり、2026 年には図面・化学式画像の入力を明確に訴求している。[27][4]

ユアサポ ユアサポ AI

2025 年の公式出展情報では、Word 内の明細書作成や、組織の文体・用語に合わせる機能を紹介している。同説明では図面生成が明確ではなく、2026 年の講演概要では図面を含む生成・文書横断修正が明記される。[28][3]

AI Samurai AI Samurai ONE

2025 年のフェアで IdeaBox 等の新機能を発表するとしている。拒絶理由対応ではクレームチャートの自動作成、文書作成では提案書から請求項・明細書・図面の説明を生成する内容を紹介した。図面の説明文と図面自体の生成は区別する必要がある。[29]

Patentfield

AI サマリーや Patentfield AIR を紹介し、要約・構造化による査読支援を訴求していた。2025 年の出展発表だけでは図面読解の詳細は明確でなく、2026 年には参考出展の説明に図面読解を明記している。[30][11]

2025 年のサマリア資料には、符号と明細書を合わせた説明や複数図面の比較に加え、図面指示を一括指示ツールでは利用できないという制約も記載されている。個別に処理できることと、大量処理できることは別の評価項目である。[21]

4 発表時期を区別すべき機能

AI Samurai は 2025 年 11 月 28 日の発表で、IDEA BOX による図面・表のデータ分析と文章化、特許用白黒図面の生成を明記した。[31] IdeaBox という名称自体は同年 9 月のフェア発表にもあるが、11 月に具体化された図面・表機能を 9 月の展示内容へそのまま遡って加えることはできない。[29] 2026 年の TTDC との共同出展は確認できるものの、個別の図面・表機能の会場実演範囲は公開案内では明確でない。[32]

Qthena 自体は 2025 年の公式出展情報に掲載済みであり、同年の説明は AI 明細書作成、請求項分析、審査対応等が中心である。[33] 2026 年には図面作成が展示説明に加わる。[15] 確認できる変化は図面作成の明示であり、製品の初登場や図面機能の正確な発売時期を意味しない。

サマリアの 2026 年 8 月 20 日資料は、実施済みの更新と今後の開発ロードマップを分けている。SVG 生成・PPTX 出力は更新内容に含まれるため、将来計画だけの機能とは扱わない。[7] Patentfield の AI 検索サポートは参考出展であり、同じ段階の機能として比較しない。[11]

5 年次比較

次の表は、前掲の企業別情報を共通の軸で整理したものである。製品の機能範囲や展示での訴求点の変化を示しており、各社の精度を共通試験で順位付けしたものではない。

比較軸	2025 年	2026 年	変化の評価
図面を読む目的	説明、符号抽出、比較、特許との対応付け	図面からの起案、引例図面を使う反論検討	読解後に利用する業務が広がる [3][4][21]
図面を作る目的	図付き提案書、解析レポート	明細書用図面、SVG や PPTX、横断修正	作成後の編集工程との接続 [6][7][18][19]

比較軸	2025 年	2026 年	変化の評価
数値表の読解	画像から値を抽出し Excel 化	実施例の条件と評価結果を抽出比較	用途は広がるが精度改善の証拠は限定的 [17][21]
対比表の作成	文献や請求項から表を生成	非特許文献対応、引用根拠、審査対応連携	対象資料と後続業務が拡大 [9][14][24]
生成後の作業	個別の生成や調査機能	編集、品質確認、Word 同期、案件管理	業務で完成させる設計が具体化 [3][7][10]
利用環境	ローカル LLM も登場	画像入力を伴うローカル利用、オンプレミス、内製化支援	未公開資料の運用方法が具体化 [3][4][16][27]

6 変化についての考察

読解結果が実務の途中工程に組み込まれる

2025 年にも複数工程を支援する提案はあった。2026 年は AIDAO の引例図面解析から中間対応への利用、ユアサポの図面を含む起案から横断修正、appia-engine の書類生成から案件管理への接続など、入力・出力・次の作業の関係がより具体的に示される。[3][5][10] この変化は、読解能力だけでなく、読解した情報をどの判断や成果物につなげるかという製品設計の進展として理解できる。

図面生成では編集可能性が実務上の価値を左右する

サマリヤと PatVisor AX の編集可能な形式による出力は、生成後の符号、接続線、構成要素の修正に対応する設計である。[6][7] ただし、編集できることと技術的に正しい構造を生成できることは別である。公開資料から明確に確認できる進展は出力形式と編集工程への接続であり、構造理解や作図の正確性について共通条件で比較した成績は示されていない。

表の進展は対比表と実験表で異なる

請求項対比表は、構成要素を抽出し、対応関係と根拠を整理する。appia-engine の非特許文献対応は、前年から何が広がったかを確認できる例である。[9][24] 一方、実験表では、数値に加えて列見出し、

単位、脚注、試料番号、測定条件を正しく結び付ける必要がある。2025 年から Excel 抽出の具体例が存在するが、2026 年の公開資料を含め、これらを共通条件で比較した誤読率や再現性評価は十分でない。数値表の読解精度が一年で大幅に改善したとまでは結論できない。[17][21]

表の体裁や対比表を生成できることは、実験結果そのものの正しさを保証しない。今回確認した表作成の中心は、既存情報の抽出、再整理、比較である。既存の実測値を整理する処理と、新たな予測値や仮説を作る処理は分けて評価する必要がある。

生成 AI と従来型処理を分けて評価する

出展情報には、従来型の作図、図表の画像化、OCR による符号抽出、画像類似検索、通常のグラフ表示も含まれる。アイビーリサーチの図表画像化や出願書式支援も、同社の生成 AI 製品とは機能の性格が異なる。[34] これらをすべて生成 AI による図面作成として数えると、技術の進展を過大評価するおそれがある。

複数の専門機能を組み合わせる方向が具体化する

2026 年には、画像を読み込む LLM に、社内資料の参照、特許データベース、編集ソフト、確認ルール、管理システムを組み合わせる提案が見られる。AIDAO の企業別の内製化支援や、N-Patent の明細書本文作成への特化も、その異なる実装として理解できる。[3][16] 図面・表を含む成果物を人が確認・修正し、業務で完成させる仕組みの充実が、公開資料から読み取れる 2026 年の特徴である。

7 実務で確認すべき評価項目

以下は出展者の公表成績ではなく、今回の比較から導いた評価軸である。初回出力の速さに加えて、人による確認・修正後に成果物を完成させるまでの負担を測ることが有用である。

対象	確認する内容
図面読解	画像だけにある情報を読めるか。符号、接続、位置関係を正しく扱い、不明箇所と推測を区別できるか
表読解	値、単位、脚注、結合セル、試料と測定条件の対応を維持できるか。原表に戻って照合できるか

対象	確認する内容
図面生成	技術構成を表現し、符号、線、文字を編集できるか。文章の変更後も図面との整合を保てるか
対比表生成	各セルの判断を原文の該当箇所へ遡れるか。情報不足を無理に埋めず、根拠と推論を区別できるか
業務効果	初回生成から確認、修正、再生成、最終確定までの総作業時間が減るか

参考文献

本文中の番号は以下の資料に対応する。閲覧日はすべて 2026 年 9 月 24 日。ウェブページの題名は識別に必要な範囲で表記を整理した。公式出展ページは出展企業の説明、プレスリリースは発表主体の説明であり、第三者による性能検証とは区別する。

[1] 知財情報フェア事務局. 2026 知財・情報フェア&コンファレンス 公式サイト. 2026 年開催情報.

<https://pifc.jp/2026/>

[2] 知財情報フェア事務局. 2025 知財・情報フェア&コンファレンス 公式サイト. 2025 年開催情報.

<https://pifc.jp/2025/>

[3] 知財情報フェア事務局 各出展者. 2026 年 出展者プレゼンテーション一覧. 2026 年講演情報. 参照箇所 AIDAO P6-11 アイビーリサーチ P1-03 P4-07 P2-15 ユアサポ P4-06 P5-10.

<https://portal.aimeet.jp/events/pifc2026/seminars?cat=exhibitor-presentation>

[4] 知財情報フェア事務局 アイビーリサーチ. 2026 年 出展者詳細 AIPs 特許専用ローカル LLM. 2026 年出展情報.

<https://portal.aimeet.jp/events/pifc2026/exhibitors/ex-2awuasg5#product-aips>

[5] 知財情報フェア事務局 ユアサポ. 2026 年 出展者詳細 ユアサポ AI. 2026 年出展情報.

<https://portal.aimeet.jp/events/pifc2026/exhibitors/ex-7cargmx2>

[6] 知財情報フェア事務局 AIVisor. 2026 年 出展者詳細 PatVisor AX ソリューション 技術要素抽出 願書案自動生成. 2026 年出展情報.

<https://portal.aimeet.jp/events/pifc2026/exhibitors/whitebell-aivisor#product-patvisor-ax-4>

[7] パテント・インテグレーション. 明細書作成支援機能の大型アップデート 今後の開発ロードマップのご案内. 最終更新 2026 年 8 月 20 日.

https://patent-i.com/summaria/manual/R_20260820

[8] 知財情報フェア事務局 パテント・インテグレーション. 2026 年 出展者詳細 サマリアとパテント インテグレーションのデモ案内. 2026 年 出展情報.

<https://portal.aimeet.jp/events/pifc2026/exhibitors/ex-1998fwli>

[9] Smart-IP. Smart-IP 「appia-engine」に中間方針壁打ち AI を搭載. 2026 年 9 月 1 日. PR TIMES 掲載の発表主体によるプレスリリース.

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000020.000102158.html>

[10] Smart-IP. Smart-IP 「appia-engine」と知財管理プラットフォーム「Dooop」が API 連携. 2026 年 9 月 11 日. PR TIMES 掲載の発表主体によるプレスリリース.

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000021.000102158.html>

[11] Patentfield. Patentfield 「2026 知財・情報フェア&コンファレンス」出展のお知らせ. 2026 年 8 月 31 日. AI 検索サポート 仮の参考出展と図面読解支援を記載.

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000067.000025380.html>

[12] アビリティ・インタービジネス・ソリューションズ. オールインワン AI 言語サービス「KORREPET」が 2026 知財・情報フェア&コンファレンスに出展. 2026 年 9 月 15 日. 図面の文字欠落 タイポのチェック等をデモ内容として掲載.

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000008.000181401.html>

[13] 知財情報フェア事務局 ASU. 2026 年 出展者詳細 生成系 AI 連携サービス Aicrea. 2026 年 出展情報.

<https://portal.aimeet.jp/events/pifc2026/exhibitors/asu#product-ai-aicrea>

[14] 知財情報フェア事務局 Patlytics. 2026 年 出展者詳細 Patlytics. 2026 年 出展情報.

<https://portal.aimeet.jp/events/pifc2026/exhibitors/patlytics-inc#product-patlytics>

[15] 知財情報フェア事務局 Questel. 2026 年 出展者詳細 AI コパイロット Qthena. 2026 年 出展情報.

<https://portal.aimeet.jp/events/pifc2026/exhibitors/questel#product-ai-qthena>

[16] 知財情報フェア事務局 トランスエヌ. 2026 年 出展者詳細 N-Patent. 2026 年 出展情報.

<https://portal.aimeet.jp/events/pifc2026/exhibitors/ex-x8bijext#product-n-patent>

[17] 知財情報フェア事務局 リーガルテック. 2026 年 出展者詳細 AI IPGenius on IDX. 2026 年 出展情報.

<https://portal.aimeet.jp/events/pifc2026/exhibitors/ex-stvhzacs#product-ai-ipgenius-on-idx>

[18] 知財情報フェア事務局 トヨタテクニカルディベロップメント. 2025 年 出展者詳細 swimy. 2025 年 出展情報. 小間番号 W4-120.

https://www.expo-form.com/united2025/usr_detail.php?ucd=71

[19] 知財情報フェア事務局 各出展者. 知財・情報フェア&コンファレンス 2025 出展者プレゼンテーション v5. 2025 年版 全 3 頁. 主な参照箇所 XLSCOUT P15 ASU P40 TTDC P42 P77.

https://pifc.jp/2025/wp-content/uploads/2025/08/pifc2025presen_v5.pdf

[20] 知財情報フェア事務局 パテント・インテグレーション. 2025 年 出展者詳細 サマリア. 2025 年出展情報. 小間番号 W3-62.

https://www.expo-form.com/united2025/usr_detail.php?ucd=89

[21] パテント・インテグレーション. 図面指示 特許文書読解アシスタント サマリア 利用マニュアル. 最終更新 2025 年 8 月 18 日. 図面 表 化学構造式 数式の画像解析 Excel 保存を記載。

<https://patent-i.com/summaria/manual/figuretask>

[22] パテント・リザルト. AI 分析 新機能 図面解説 発明をフローチャート化 実施形態を表で整理. 2024 年 9 月 17 日.

<https://www.patentresult.co.jp/news/2024/post-21397.html>

[23] パテント・リザルト. Biz Cruncher 交流会 開催のお知らせ 2025 知財 情報フェア コンファレンス最終日. 2025 年 7 月 18 日. 会期中の自社ブースへの来訪案内を掲載 個別機能の実演記録ではない。

<https://www.patentresult.co.jp/seminar/real/post-62.html>

[24] 知財情報フェア事務局 Smart-IP. 2025 年 出展者詳細 appia-engine. 2025 年出展情報. 小間番号 W3-48。

https://www.expo-form.com/united2025/usr_detail.php?ucd=55

[25] 知財情報フェア事務局 ASU. 2025 年 出展者詳細 Alcrea. 2025 年出展情報. 小間番号 W3-59。

https://www.expo-form.com/united2025/usr_detail.php?ucd=14

[26] XLSCOUT. Patent Information Fair & Conference PIFC 2025. 2025 年イベント案内. 9 月 10 日から 12 日の出展と 9 月 10 日の講演を告知。

<https://xlscout.ai/event/patent-information-fair-and-conference-pifc-2025/>

[27] アイビーリサーチ. メールマガジン 第 34 号 初公開 2025 知財情報フェア発表 特許専用 LLM で革新する実施形態 生成 AI ツール. 2025 年 9 月号. 同一ページの第 34 号を参照 後年の号とは区別。

https://www.ibr.co.jp/contact_mailmaga.html

[28] 知財情報フェア事務局 ユアサポ. 2025 年 出展者詳細 ユアサポ AI. 2025 年出展情報. 小間番号 W3-36。

https://www.expo-form.com/united2025/usr_detail.php?ucd=118

[29] AI Samurai. AI Samurai はトヨタテクニカルディベロップメントとコラボし 知財 AI の最前線を発信 2025 知財情報フェア コンファレンスに共同出展. 2025 年 8 月 29 日. IdeaBox 構成要素対比 特許文書作成等の新機能を紹介。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/0000000273.000021559.html>

[30] Patentfield. 2025 知財 情報フェア コンファレンス 出展案内. 2025 年 8 月 28 日. AI サマリー Patentfield AIR 等の紹介。

<https://patentfield.com/news/294>

[31] AI Samurai. AI Samurai ONE に新機能 IDEA BOX 搭載. 2025 年 11 月 28 日. 図面 表のデータ分析と文章化 特許用白黒図面の生成を記載。

<https://aisamurai.co.jp/2025/11/28/「ai-samurai-one」に新機能「idea-box」搭載♡！！！！/>

[32] トヨタテクニカルディベロップメント．2026 知財 情報フェア コンファレンスに出展します．2026 年 8 月 28 日．
AI Samurai との共同出展 小間番号 3-E14。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000046.000070679.html>

[33] 知財情報フェア事務局 Questel．2025 年 出展者詳細 AI コパイロット Qthena．2025 年出展情報． 小間番号 W4-98。

https://www.expo-form.com/united2025/usr_detail.php?ucd=38

[34] アイビーリサーチ．特許申請の流れ 各フェーズの支援ソフトウェア．公表日記載なし．OCR による符号抽出 図表 化学式等の画像化などの機能区分を参照。

<https://www.ibr.co.jp/flow.html>